【御堂筋ｋａｐｐｏ２０１１臨時救護に参加して】

管財課　主事　西尾拓真

１０月９日（日）、御堂筋ｋａｐｐｏ２０１１イベントの救護所に救護班の主事として派遣されました。

過ごしやすい季節なので、熱中症などで倒れる人も少ないだろうとは思われましたが、訓練ではなく本番の救護であること、主事は１人なのできちんと役務をこなせるか等、緊張の入り交じる中、参加しました。

イベント中は、臨時救護所の運営をし、医師・看護師はそれに加えて１時間ごとに赤十字奉仕団の方と一緒に傷病者がいないか、会場である御堂筋の巡回を行いました。また手の空いた時間は、救護班のメンバーも日赤大阪府支部の職員と一緒に赤十字のＰＲ活動をしました。

普段の業務と違い、一般の方や奉仕団の方と話をさせていただいた事は、とてもいい刺激になりました。「昔、当院に入院してお世話になった」、「東日本大震災では、宮城にいち早く来てくれて助かった」などと感謝の言葉をいただくこともありました。また、東日本大震災の影響もあり、救援物資や日赤救護班の活動写真の展示にとても高い関心が集まっていたように思います。ＡＫＢ４８が救護服を着たポスターには、老若男女、多くの方の注目を集めていました。

当日は救急搬送を含む数件の対応がありましたが、大きな事故等もなく、無事に任務を果たすことができました。今回の派遣を機に、今後も救護活動に積極的に関わっていきたいと考えています。

御堂筋で傷病者がいないか巡回します